



守ろう！子どもたちの笑顔と安心・安全



藤岡 緑 議員

道路整備における整備条件の優先順位は

現地調査を行い事業個所に偏りがない選定から

問

- ① 財政的制限のある中で道路整備に優先順位を付ける時は。
- ② 高齢者など交通弱者に対する道路整備は。
- ③ 通学路の道路表示などの定期的なチェックは。

副町長

- ① 現地調査を行い老朽化の程度、利用度、地元合意の形成度など勘案し、事業個所の偏りがない選定をしていく。
- ② 交通安全対策が重要なので、特に歩道を新設または改良する時は、勾配や段差など交通弱者にも配慮していきたい。
- ③ 8月に通学路の緊急合点検を実施した。危険と判断される個所は整備がほぼ完了している。また、松前小学校の通学路の土川沿いの町道西74号線は道幅が狭いため、今年度から歩道整備に着手する予定だ。

子どもを取り巻く環境の安心、安全の確保は

心の問題には相談員、不審者対策は地域で

問

- ① 18歳以下の自殺者が休み明けに集中している。学校や家庭の問題を抱え悩む子どもたちへの対策は。
- ② 下校時や夜間の不審者対策は。

教育委員会事務局長

- ① 各小・中学校ごとに相談員1名、更に中学校にはスクールカウンセラー1名、町内全体で連絡調整役のソーシャルワーカー1名を配置し、臨床心理面など専門的分野からもサポートして問題の解決に努めている。
- ② 教員も含めた補導委員30名で月4回以上の補導巡回活動、更に青色防犯パトロール隊79名による地域の協力、連携で事件、事故を防いでいる。